

2003

ハノーバー専科大学との教員交流

期間：2003年（平成15年）5月13日⇒5月16日

会場：広島市立大学

報告：若山裕昭



芸術学部では本学の学術交流協定大学であるハノーバー専科大学（FHH）からの提案を受け、FHH デザイン・メディア学部と本学芸術学部との間での教員相互派遣プログラムを開始した。平成15年度においては、5月12日から16日までの期間、シングルン・ヤクバシユケ教授、ゲルト・ウベン教授の2名が本学を訪問し、プレゼンテーションやワークショップを行った。

〔日程〕

5月13日（火）

10:00- ヤクバシユケ教授プレゼンテーション

「My Painting」

13:00- ゲルト・ウベン教授プレゼンテーション

「Creative Process: Development of a Brand」

5月14日（水）10:00-16:00

ヤクバシユケ教授ドローイング・ワークショップ

「食べ物から連想するイメージ」 参加学生11名

食べ物を注視して、用意した紙の上に目を閉じて連想するイメージを思いのままオートマチックに描く。その作用について数枚制作。その後、目を開けてそれらの作品から得られる食べ物という認識から隔てた線や色彩を再構成するもの。

5月15日（木）、16日（金）10:00-16:00

ウベン教授 デザイン・ワークショップ

一定の形に切られた厚紙をつかって、決められた時間内にある一定の形状をつくりあげる。